

2022 年9月5日

第 74 回「保健文化賞」受賞者の決定について

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)が主催する第 74 回「保健文化賞」の受賞者が別紙のとおり決定しました。

当社は創業以来、生命保険事業を通じた社会課題解決への貢献とともに、国民の健康、保健衛生の向上に努めてきました。1934 年に「保生会」を設立して当時の国民病であった結核予防に取り組み、戦後間もない 1950 年に衛生環境が悪化する中、わが国の保健衛生向上のためにお役に立ちたいとの思いから、保健衛生の分野における立派な業績と長年にわたるご労苦に感謝と敬意を捧げるために本賞を創設しました。

創設当時は結核や栄養不足、その後は生活習慣病対策、高齢者・障がい者福祉、国際保健など、その時代におけるさまざまな課題に取り組まれた方々を顕彰してきました。

第 74 回となる本年度は、2022 年2月1日から4月 15 日の期間に募集を行い、団体・個人合わせて 36 件のご応募をいただきました。この度、審査委員による選考のもと、団体 10 件、個人5名の受賞者が決定しました。これまでの受賞者総数(今回を含む)は、722 団体、個人 372 名、合わせて 1,094 件にのぼります。

受賞者には、厚生労働大臣から表彰状、当社からは感謝状とともに賞金(団体 200 万円、個人 100 万円)、朝日新聞厚生文化事業団・NHK 厚生文化事業団からは記念品が贈られます。

当社は、生命保険業を通じて「安心」と「健康」をお届けすることで、社会に貢献するとともに、本賞を通じて、今後も保健衛生の向上に寄与していきます。

以上

主催 第一生命保険株式会社
後援 厚生労働省
朝日新聞厚生文化事業団
NHK厚生文化事業団

第74回保健文化賞受賞者一覧

(敬称略)

(別紙)

受賞者名	都道府県(※)	業績
埼玉骨髄バンク推進連絡会	埼玉県	1989年に結成され、現在の日本骨髄バンク設立に寄与し、以降は、埼玉県内のドナー登録会時の説明員の派遣や調整を担い、また医療相談会等のイベントを通じて、ドナー登録拡大に貢献している。
一般社団法人 OVAL HEART JAPAN	東京都	東日本大震災後に発症した生活不活発病の予防活動として、運動器症候群に配慮した歩行プログラムの普及に努めるとともに、同プログラムは介護予防にも適応できるため指導者を養成し、全国各地に活動の輪を広げる歩行運動の普及に貢献している。
認定特定非営利活動法人 シャイン・オン・キッズ	東京都	日本の医療の中に、シャイン・オン！キッズが心のケアの提供をプラスすることで、子ども達が入院中でも笑顔で過ごす事ができるようになるとともに、コロナ禍でも中断することのないケアの提供により、病気の子ども達に勇気と希望を与える活動を通じて、病気の子ども達のQOLの向上に貢献している。
公益社団法人神奈川県助産師会立 とわ助産院	神奈川県	神奈川県で初めて助産師職能団体による会立助産院を設立し、地域の母子保健に携わる助産師のブラッシュアップや後輩育成に尽力するとともに、地域の医療機関とも密に連携を取り、産後ケアの質の向上などに貢献している。
長野県信鈴会	長野県	発声機能を失った咽頭摘出者に対し、50年以上にわたり、代用音声による発声技法の習得を目指した発声訓練講習会を開催するとともに、同講習会は咽頭摘出者にとって、発声訓練が慰問と激励の場ともなっており、咽頭摘出者の福祉の向上に貢献している。
津具ロコモ予防体操教室	愛知県	住民主導による津具ロコモ予防体操教室は、高齢化が進展する山間地域において、十年にわたる活発な活動を継続し、住民達の知恵と努力、地域保健関係者の支援を結集させ、地域の高齢者の健康づくりや地域活動の活性化に貢献している。
ナーベルプラ座	愛知県	多様な構成員が、長年にわたり性の健康を幅広く伝える性教育に取り組むことによる、いのちと人権を守り育てる活動を通じて、学校等との連携を重視した包括的性教育の発展に貢献している。
公益社団法人大阪府看護協会	大阪府	大阪府看護協会は、全国に先駆けコロナに対応する看護職員の確保・研修、宿泊療養施設の運営等に取り組み、本会がその活動を全国に伝えたことで、多くの県看護協会の取組みが一層強化され、必要な医療の確保に繋がる国民の生命・健康維持に貢献している。
HBG重度・重複障害児スポ・レク活動教室 「はなまるキッズ」	広島県	身体及び知的にも最重度の障害を有し、医療的ケアを必要とする子供も対象とした、国内外でも例のないアダプテッド・スポーツ(障害等に応じたルール、用具、指導法等を独自に考案・工夫したスポーツ)教室を15年間、定期的に開催するとともに、障害者スポーツ指導者養成に貢献している。
障害学生パートナーシップネットワーク付属 熊本県発達障害当事者会 Little bit	熊本県	障害に捉われず多様な行政・団体との連携を広げ、協働に発展させ、発達障害を含めた多様な人々が地域で活躍する場を増やし、一人ひとりの「できること」を引き出す「対話力」を備えた社会づくりに貢献している。
豊嶋 崇徳	北海道	唾液中の新型コロナウイルスの存在に気づき、その後、産官民一体で極めて短期間のうちに唾液検査法を確立し、コロナ対策を大きく進歩させ、唾液検査の普及に貢献している。
今 明秀	青森県	一人救急医として活動し、医師・看護師・消防・市民の教育を通じて、稀有な救急医療体制を作りあげるとともに、移動緊急手術室の開発を通じて、絶望的だったへき地の心肺停止症例を社会復帰に導き、また外傷診療体制の質の向上に貢献している。
五十嵐 千代	埼玉県	わが国の産業保健分野の保健師等の産業保健看護職の育成を通じて、産業保健及び産業看護を発展させ、東京を拠点に働く人の自殺対策を含むメンタルヘルス対策や地域の人への健康支援に貢献している。
松平 浩	東京都	従来の間工学的対策だけでなく、心理社会的要因への対策の必要性について先駆的かつ一貫した研究を実施し、労働災害が増加傾向にある第三次産業での腰痛をはじめとする筋骨格系疾患の予防・改善に貢献している。
下浦 佳之	兵庫県	国内で頻繁に発生する災害に対し、栄養と食事に関する被災地支援のスキームと体制の構築及び平時における防災体制の総合的な整備活動によって、誰一人取り残さない災害支援システムの構築に貢献している。

※受賞時点の団体所在地・個人居住地